

幕末・戊辰戦争から明治にかけて揺れる福島と日本を変えたのは、  
名もない村人たちと、お蚕さまだった！？

戊辰の戦火に追われるように、荒井山中に集った七人。

その中に蚕を育てることだけが取り柄の

“おい”と呼ばれる名も家もない娘がいました。

“おい”のような農民、元藩士、芸人…。

元々住んでいた藩も、身分も違う七人は、

“新政府”に一泡ふかせようと自分たちの国を作ろうとするが…。

様々な藩の小さな領地が入り乱れていた福島西地区を舞台に、  
決して表舞台には立たない人々から戊辰を描く一。

## 収穫祭のお知らせ

公演当日は、秋の民家園を楽しめる民家園ふれあい祭りが行なわれます！

荒井地区の新そばや、おいしい豚汁、古民家を使った出店などを予定！お楽しみ下さい。

## ■ アクセス

### 車でお越しの方

福島西インターから  
国道115号を西へ約10分

### バスでお越しの方

福島駅東口7番ポール  
佐原経由「四季の里」行き  
「室石」下車、徒歩8分



## ■ バス時刻表 赤字は観劇にオススメの便

行き		帰り	
《福島駅東口発》	《室石着》	《室石発》	《福島駅東口着》
7:15	7:43	11:59	12:30
8:15	8:43	13:34	14:05
9:45	10:13	15:09	15:40
11:00	11:28	16:34	17:05
12:40	13:08	17:15	17:45
14:10	14:38	18:43	19:13

## ■ お問い合わせ

劇団120〇EN 090-6423-9837

## ■ ご観劇時の注意

民家園駐車場から10分程徒歩移動がございます。

また、混雑が予想されますのでお早めにご来場ください。

当日の観劇は寒さが予想されますので暖かい格好でご来場ください。

## 《出演者》

前林里佳子 鈴木優斗 奈良夏妃 遠藤航（客演） 那須大洋  
萩原功太 大信田勇太 ビーター高橋 増田屋祐介 齋藤勝之  
小田大暉 福島市西地区エキストラの皆さん ほか

脚本：清野和也 / 演出：齋藤勝之 / 助演出：大信田勇太 / 舞台監督：清野和也  
助舞台監督：奈良夏妃 / 音響：清野和也・遠藤晃 / 照明：押切ミチル・齋藤千聖・鈴木賢  
大道具：増田屋祐介・那須大洋・鈴木里実 / 広報：紙棚 / 衣装：川島ゆかり・遠藤航  
メイク：押切ミチル・遠藤航・国井紗也佳 / 小道具：鈴木優斗・ビーター高橋・小田大暉  
制作：遠藤晃・紙棚 / スチール写真撮影(チラシ)：相田勝仁 / 宣伝美術：鈴木里実

## げきだんひやくにじゅうえん 劇団120〇EN?

「福島に住む人々のルーツを辿る演劇集団」として、  
福島市に伝わる民話や歴史を下敷きとした、福島だからこそ  
観ることの出来る創作劇を探し、定期的に上演している。  
震災直後の2011年4月より活動を続ける。西地区ふるさとの  
歴史再発見事業では『思わざらまし六つの花-信達義民芝居  
太郎衛門-』（2016年）、『荒川ジュリエット』（2017年）に  
続いて3年目の上演。直近では、2018年3月31日、市の公共

ホール福島市公会堂の休館日前日に、最後の催し物として  
『主演：福島市公会堂 会場：福島市公会堂-2018年3月31日-』  
を上演、好評を得た。

